

平成25～29年度 西京区の地域福祉活動
基本理念

住み慣れた地域で育ちあい 支えあう地域を住民参加でつくる

重点目標 1 小地域福祉活動総合推進事業の推進

学区社協重点目標の策定と目標に基づく活動の推進など

重点目標 2 地域の絆づくり事業の推進

「見守り」「居場所づくり」「相談事業」の充実と推進など

重点目標 3 権利擁護活動の推進

日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の推進と
成年後見制度の利用促進など

重点目標 4 相談機能の強化と生活支援の推進

関係機関等とのネットワークによる生活支援の推進など



見守り活動

広がる！見守り活動

「見守り活動者名簿」を活用して対象者を拡充

昨年度から京都市では、支援が必要な一人暮らし高齢者や障害のある方などを対象とした、「見守り活動促進事業」が開始され、学区社会福祉協議会は、個人情報提供の同意を得られた方の「見守り活動者名簿」の貸出を受けられるようになりました。

学区社協では、この名簿を活用して、「寝具クリーニングサービス事業」、「配食サービス事業」、「友愛訪問」、「学区社協事業の案内を兼ねた訪問活動」など様々な活動を通して、声かけ・目配り・安否確認を実施しています。

また、災害時に備えた「福祉マップづくり」を通じた取組を行っている学区もあるなど、地域で孤立しがちな方への多様な見守り活動が進んでいます。



桂徳学区の見守り活動

居場所づくり

多様な居場所 づくりを展開中

世代を超えた“居場所”も誕生

近頃、社会的孤立の防止や仲間づくりを目的に、身近な地域で高齢者や障害のある方、子育て中のお母さんたちが気軽に集える“居場所づくり”の活動が注目を浴びています。

西京区でも、高齢者を対象に100円や200円の参加費で、コーヒーやお茶を飲みながらおしゃべりや会話を楽しむ「喫茶型サロン」などの居場所づくりが広がりつつあります。

サロンによっては、特定の世代だけでなく、子どもさんから高齢者の方まで幅広い世代の方々が集えるような活動も誕生しています。

またサロン開催時に、日常生活の困りごとを聞く「相談事業」の取組も併せて行うなど、“日常生活に欠かせない”居場所づくりを目指しています。



川岡東学区のひまわりサロン



災害ボランティアセンター

“つなげる” “つながる” 災害ボランティア

災害にも強いまちづくり

西京区社会福祉協議会では、災害が起こった時に駆けつけてくれるボランティアの大きな力を、地域の復興支援活動につなげる為の取組を推進しています。

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練や、助けが必要な人を訪問して見守る訓練などを実施し、災害にも強いまちづくりを目指していきます。



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

問い合わせは

社会福祉法人 京都市西京区社会福祉協議会

〒615-8083 京都市西京区桂長町23-4

TEL.(075)394-5711 FAX.(075)394-5712

http://0753945711.jp/ E-mail : nisikyouto@0753945711.jp

西京区社協

検索

